

2016年4月号

4月15日(金)

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 235



早春の温根内…

雪が解け、湿原の色が一面の白から茶色になると、生き物たちはさっそく活動を始めます。エゾアカガエルの声があちこちで響き、成虫で越冬したクジャクチョウやエルタテハは飛び始め、フクジュソウやフキノトウはいち早く花を咲かせました。

何も無いように見える早春の温根内を歩きながら、目立たない小さな春を探してみてはいかがでしょうか？

～温根内ビジターセンター 木道周辺の自然情報～



～温根内探勝木道周辺の自然～



【カラフトノダイオウ】
 タデ科 樺太野大黃
 湧水ややちまなこ周辺で赤く細長い葉が芽吹いています。7月に目立たない花を咲かせる地味な存在ですが、じつは絶滅危惧種でもあります。



【バイケイソウ】
 シュロソウ科 梅蕙草
 鶴居軌道跡沿いの日当たりの良い斜面で淡い緑がとても目立ちます。毒草なので山菜と間違えて食べてしまわないよう注意が必要です。



【ハンノキ】
 カバノキ科 榛
 枝先にぶら下がっているイモムシの様なものが雄花で、無数の花粉を風で飛ばしています。カバノキ科の花粉症の人は要注意。



【キタミフクジュソウ】
 キンポウゲ科 北見福寿草
 温根内では鶴居軌道跡の日当たりの良い斜面で見られますが、数が少ない花です。茶色の斜面に黄色い花が咲くと春の訪れを感じます。



【やちぼうず】
 カヤツリグサ科
 雪解け後の今の季節が一番やちぼうずらしい格好をしています。間もなく頭(?)から芽吹き、5月中旬には目立たない花を咲かせます。



【エゾアカガエル】
 アカガエル科 蝦夷赤蛙
 「キャラララ…」と雄が雌を呼ぶ声が湿原中に響き、とてもにぎやかです。産卵時期を終えるとほとんど鳴かなくなります。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

○表紙の写真 上: ミズゴケ湿原 中右: キヌヤナギの花とエゾオオマルハナバチ 中左: クジャクチョウ 下: キタミフクジュソウ

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

温根内周辺ではカラ類のさえずりと、キツツキのドラミングがととにぎやかです。夏鳥も少しずつ到着し始めました。これから木の葉の生えそろう6月中旬頃まではバードウォッチングにはとても良い季節です。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【オオハクチョウ】 旅鳥
カモ科 大白鳥
繁殖のため北へ帰る途中に温根内の上空を通過します。ラッパの様な鳴き声が聞こえたら上空を探してみましょう。



【ヒシクイ】 旅鳥
カモ科 菱喰
「ギャハハン…」とにぎやかな声を出しながら編隊飛行で温根内上空を通過します。北帰行の途中で、朝と夕方によく見られます。



【ミソサザイ】 夏鳥
ミソサザイ科 鷓鴣
夏鳥ですが、温根内では春と秋に見られます。尾羽を上下に動かす仕草がとても愛らしい日本最小クラスの野鳥です。



【オオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科 大寿林
釧路湿原へはいち早く帰ってくる夏鳥です。ヨシ・スゲ湿原で今年の縄張りを探しています。きれいなさえずりはこれからです。



【ベニマシコ】 紅猿子
アトリ科 夏鳥(一部越冬)
温根内では夏鳥のベニマシコが4月上旬に帰ってきました。「ピッポ、ピポポ」という特徴的な鳴き声でその姿に気づきます。



【アカゲラ】 留鳥
キツツキ科 赤啄木鳥
聞きなれない音のドラミングの正体はテレビアンテナを突くアカゲラでした。周辺に音はよく響きますが、嘴が心配です。

○温根内木道で観察された鳥(3月15日～4月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■ミコアイサ■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■チュウビ■ハイタカ■ノスリ■コゲラ■アカゲラ■ヤマゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒバリ(3/31初認)■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■ノビタキ(4/13初認)■ベニマシコ(4/7初認)■オオジュリン(3/31初認)

☆☆☆自然ふれあい行事「早春の湿原ハイク」が開催されました☆☆☆



4月10日(日)、湿原の雪はようやく解けましたが、本格的な春はまだまだ先。そんな何も無いように見える湿原で、目立たない春の気配を探す観察会が開催されました。冬眠から覚めたエゾアカガエルがあちこちで鳴いていて、まさに早春という気配。なかなかの難問が続く湿原クイズビンゴを楽しみながら、タンチョウの巣作りのお話や、成虫で越冬するクジャクチョウ、フキノトウの雄株と雌株の話などを解説していただきました。また、ミスゴケ湿原では広大な景色と特殊な環境で育つ高山植物の話聞いて、改めて釧路湿原の環境の多様性を確認しました。参加者：10名 講師：若山公一氏

☆☆☆ビジターセンターの建て替え工事がいよいよ始まります☆☆☆



現ビジターセンター (2015/5/7)



現ビジターセンター内



新ビジターセンター完成予想

ビジターセンター建て替え工事中は小さな仮設ビジターセンターで運営を行います。旬の自然情報等は今までと変わりなく発信いたしますのでお気軽にスタッフまでお尋ねください。また、お手洗いの数が少なくなりますので、特に繁忙時期は混雑が予想されることから、温根内に来る際には別の場所でトイレを済ませてから来ていた

できれば混乱は避けられます。工事の状況等はフェイスブックでも発信していく予定です。探勝歩道は通常通りご利用いただけますが、ビジターセンター裏の鶴居軌道跡の部分は通り抜けできなくなります。来年4月のオープンまでの間は何かとご不便をおかけすることも多いですが、ご理解とご協力をいただければと思います。

☆☆☆☆イベントのご案内 (5月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪春の湿原ハイク

〔日時〕5月8日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原ではようやく花が咲き始めました。よく探さないと見過ごしてしまう早春の花々を探してじっくりと観察し、釧路湿原の遅い春を実感します。

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月22日(日) 8:00～10:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。何種類の鳥を確認することができるでしょうか？

※双眼鏡の無料レンタルを行っています。必要な方は申込時にお知らせください。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪湿原の野鳥観察会

〔日時〕5月7日(土) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔集合場所〕憩の家かや沼駐車場

アメリカミンクにご注意を!

湿原の雪が解けるとアメリカミンク(特定外来生物)の姿が目立つようになります。子育ての為にせっせと湿原の生き物を捕まえて栄養を蓄えています。見かけても決して触ったり餌を与えたりしないようお願いいたします。



月刊 温根内通信 4月号 No.235

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kk946/>

fFacebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 10:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料